

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 各務原西高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和4年2月4日（金）
- 3 開催方法 書面開催
- 4 参加者

会長	今尾 圭一	十六銀行各務原支店長
副会長	進藤 達彦	各務原市役所産業活力部商工振興課長
委員	杉山 淳子	臨床心理士
	遠藤 正彦	各務原市自治会行政協力員
	黒田 晴代	第14回卒業生
	堀 登司仁	P T A会長
	田中 幸子	P T A副会長
学校側		
	増田 泰志	校長
	錦見 喜朗	教頭
	中川 弘之	事務長
	谷藤 寛三	教務主任
	向井 好美	生徒指導主事
	長谷川 博	進路指導主事
	林 えり	特別活動部長
	太田 英之	教務副主任（記録）

5 会議の概要

(1) 令和3年度「自己評価」を踏まえた学校への提言、意見、要望等について

意見1：教職員が学校をよくするため、生徒のために頑張っていることがよく分かった。新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しないことから、対応はいろいろと難しいこともあるが、より良い学校となるよう教職員の頑張りを期待する。

意見2：コロナ禍で学校活動にも制約がある中で、工夫を凝らした活動になっていると感じる。タブレットやICT機器を活用した教材や授業研究の成果が生かされていることは素晴らしいことである。

意見3：業務量の低減目標に対する達成度が比較的低い点が気になる。日常的に多忙な教職員に、コロナ禍特有の業務が更に増えたからではないか。ただ、オンライン授業の準備など、初年度よりもスムーズになっているようで安心している。

意見4：年間10回というスクールカウンセラーの配置計画は、実際のニーズに適していないので、年間計画を立てる時からもっと増やした方が良いのではないかと。

意見5：各部で高い目標が掲げられ、コロナ禍で対応が難しいにも関わらず、真摯に取り組まれた結果、高い達成度になっている。ただ、業務量の低減目標について達成度が低いことは残念である。難しい問題ではあるが、今後も引き続き努力することを期待する。

意見6：Classiの活用、ICT機器を取り入れた授業を推進することで、生徒一人一人の学習状況の“見える化”を実現でき、授業や指導方法の多様化に合わせ、様々な機能で教員、生徒をサポートできている。

意見7：コロナ禍において、対面とオンラインのハイブリッド授業等、ICT機器を取り入れた授業

ができたことは良かった。また、単位制高校として、生徒が学びたい科目を学べる環境が提供できている。PTA活動も一部中止になった事業もあったが、日程の変更など工夫し、実施できたものも多くあり良かった。

意見8：オンライン授業の体制がスムーズに整えられ、実施できたことが大変良かった。生徒は、学びを止めることもなく取り組むことができ、回線の不具合等もなかった。

(2) 地域課題探究型学習推進事業について

意見1：地元各務原の高校として、生徒が地域への興味・関心を高めることができるという点において非常に重要な事業である。1、2年次とも、地元の多種多様な業種の講師の話聞き、また、市役所職員の話も聞くことができ、生徒も地元に対する愛着に繋がった。教員もコロナ禍で講座の設定など大変だが、生徒にとっては貴重な経験になった。

意見2：具体的な取組内容や生徒の声など興味がある。高校生の段階で、大学の教員や事業者などの話を聞くことは、学校の学び以上に意義のあることである。このような機会を通じて、生徒が自分の興味・関心に気づき、進路として目指すものを見つけられることを期待している。

意見3：社会人講話について、地域で活躍されている多種多様な講師の話聞くことができ、生徒たちも視野が広がったと思う。講師の人選について、生徒にアンケートを取り、それを参考にしているかどうか。

意見4：事業としては良い取組だと感じるが、教員の負担は相当大きいのではないかと。コロナ禍で事業の実施に難しいところが多々あったと思うが、ここまでできて良かった。机上で学べない貴重な取組であるので、来年度以降も継続されることを期待する。

意見5：学習の過程を通じて、自分の考えや課題が新たに更新され、新しい気づきになって良かった。「ふるさと教育」は学校や住んでいる地域という身近なものがテーマなので、生徒の関心やモチベーションが上がりやすいと感じる。

意見6：知識、技能の習得に加え、思考力、判断力、表現力が求められる中、ロジカルシンキングを基に身近な地域課題を材料としての学習は面白いし、生徒の力に繋がると思う。

意見7：地域の魅力を知り、地域に密着した課題を発見、解決する探究型学習というのは、なかなか難しいことだと思うが、生徒の思考力、判断力、表現力を高めるための工夫がされていると感じる。

(3) 三つの方針（スクール・ポリシー）について

意見1：「育てたい生徒」「どう育てるか」「どんな生徒を待っているか」が非常に分かりやすい方針になっており、生徒や志望する中学生にいいアピールになる。

意見2：「好学時習」「質実剛健」「互敬友愛」の3語に尽きる。40年の伝統の中で、育まれたこれらの精神について本校らしいと感じる人が多くなってほしい。

意見3：学校全体で目指す資質、能力を明確に具体化されていて、生徒たちも生活面、学習面において意欲の向上になる。

意見4：とても良い方針である。今後の各西生の更なる活躍を期待する。

6 会議のまとめ

委員には今年度の様々な取組について、好意的な意見が多く、高い評価が得られた。また、三つの方針（スクール・ポリシー）についても承認された。

今回の貴重な意見を参考に、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を怠ることなく進めながら、さらなる教育活動の改善に取り組み、生徒一人一人がこの学校に入ってよかったと言えるように職員一同で尽力していきたい。